

駒ヶ岳・大沼 森林環境保全 ふれあいセンター

地域の特徴

駒ヶ岳・大沼周辺の国有林は、大沼国定公園エリアの内外に位置していることから、関係団体より水質の保全、景観の維持、鳥獣生息環境の維持向上等が求められてきています。また、函館市周辺の国有林においても、函館山の景観や沿岸漁業等に配慮した森林施策が求められてきている地域です。

活動区域と主な取り組み内容

函館市周辺および駒ヶ岳・大沼地域の国有林を主な活動区域としています。近年、全国各地で森林の自然再生活動や、生物多様性の保全活動、森林環境教育活動に取り組むNPOや森林作業等を行うボランティア団体等の活動の活発化をふまえ、当センターでは、(1)自然再生、森林環境教育等のNPO、教育関係者等のニーズ対応、(2)郷土樹種を活用した森づくりや植生回復等の「自然再生推進モデル事業」の実施、(3)駒ヶ岳・大沼周辺および茂辺地自然体験の森等の国有林をフィールドとし、教育関係者等への森林環境教育に関わる技術的支援・情報提供を行っています。



駒ヶ岳・大沼森林環境保全
ふれあいセンター



自然再生の取組

多様性のある森林への再生

大 沼国定公園エリアの吉野山国有林では、現在、樹齢80年のドイツウヒの人工林となっている箇所において、地域のニーズをふまえた生物、水質、景観など多様性のある森林への誘導に取り組んでいます。



森林環境教育の取組

森林環境教育の一環としての樹木博士認定活動の推進

大 沼国定公園エリアの西大沼国有林に、森林に対する関心と理解の醸成を図る拠点として設置した「樹木博士認定常設コース」では、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や、函館市生涯学習講座としてカリキュラムの定期開催などを行っています。

駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンター

〒042-8550 函館市駒場町2-13(函館事務所庁舎内) TEL.0138-51-0381 FAX.0138-51-8178

E-mail:h_koma_f@rinya.maff.go.jp URL:http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/komagadake_hp/